

令和8年度 林業試験研究推進計画書

1 課題名	(大項目)	木材産業のイノベーション		
	(小項目)	大径材の利用促進		
	(課題名)	県産材を用いた家具類の付加価値向上に関する研究		
2 研究期間	令和8年度～10年度	3 担当者	資源利用課 溝口	
4 研究費 (千円)	令和8年度	2,854	((国) 0 (一) 2,854 (諸) 0)	
	令和9年度		((国) 0 (一) (諸) 0)	
	令和10年度		((国) 0 (一) (諸) 0)	
	計	2,854	((国) 0 (一) (諸) 0)	

5 背景と目的

高知県の人工林は大径化が進んでおり、大径材の活用が課題となっているが、その多くが有効に活用されていない。一方、都市部では「都市の木造化推進法」等、内装木質化の事例が増加しており、中でも家具類は、良質な部材が採材できる大径材の有効な活用先となることが期待される。しかし、高知県内の家具メーカーは中小規模の受注生産型が中心であり、製品の種類・性能の点から、大手家具メーカー主体の新設公共施設への参画は難しい状況にある。

本研究では、大径材を家具用部材として活用するための製造・品質試験を行うとともに、製作した家具類の性能を検証し、地元メーカーによる付加価値の高いオリジナル家具類の開発を支援する。

6 到達目標

- 1) 県産材を活用した家具用部材の製造・品質管理方法の確立
- 2) 木工連オリジナル家具類の開発

7 要望課題との関連

要望提出機関名	要望課題名
高知県木材産業振興課 高知県木製品工業連合協同組合	室内空間への木材利用の拡大 木工連製高性能なオリジナル什器の開発

8 既往の研究成果の概要

9 研究結果の概要

10 研究年次計画

試 験 計 画	
試 験 項 目・試 験 内 容	試 験 年 度
1. マーケティング 市場調査・戦略設計、製品設計	R8～R10
2. 家具用部材の製造・品質試験 製造試験（製材・乾燥試験） 品質試験（材面品質）	R8～R10
3. 家具類の性能試験 接合部仕様の検討および試作 製品性能試験 機能性・感応性評価	R8～R10
4. 市場テスト 展示会出展・試作品の改良	R8～R10

11 当年度研究実施計画

マーケティング、家具用部材の製造・品質試験、家具類の性能試験、市場テスト

12 協力・共同機関

協力：高知県木製品工業連合協同組合

13 産業振興計画との関連

柱2 木材利用の拡大 (1)大径材の利用促進 関連